

三田市立幼稚園再編計画（案）説明会概要

【母子小学校体育館：出席者数：3人】

日時：9月26日（土）15：00～16：00

発言者	出席者の発言（概要）	市の回答（概要）
A	<p>①直接幼稚園とは関わりはないですが、母子・永沢寺地区は、幼稚園・小学校は地域との関わりが濃い地域。幼稚園の再編計画の内容を見ると個人的には魅力的だし、素晴らしい、理想的な動きだと思うので異論はありませんが、母子地区は通園・通学について行きは最初にバスに乗り、帰りは最後にバスを降りるという地域で、幼稚園の子どもがそういう状況になると周りの状況を考えると弊害はあり、一面だけを見て進めていくことはなかなか難しいと思います。</p> <p>小学校は特認校制度がありますが、親の送迎もあり人数は少ないです。幼稚園が統合し、そこで仲間ができますが、それぞれの小学校に戻ると少人数になります。幼稚園、小学校、中学校と考えたときに、友だち関係などのつながりを考えると複雑です。</p> <p>この地域の活性化とまではいかなくとも、今よりも光をなくしたくないと思っています。今日は教育総務課も来られていますが、一貫した子どもの教育、地域の発展を考えなければいけないと思います。単体で考えられない状況だということを伝えたいと思いました。</p> <p>預かり保育の利用の際の保護者送迎は大変だと思います。</p> <p>幼稚園だけの問題ではなく、縦のつながりということで進めていくべきことだと考えます。</p>	<p>①小学校とのつながりについて、母子は幼稚園と小学校が日常的な関わりをしています。今と同様の交流はできにくいと思いますが、自分は母子小学校へ行くという見通しが持てるように保育を工夫し、幼稚園と小学校の職員がつながり、送り出す側と受け入れる側がこれまで以上に連携を密にして、子どもが安心して就学に向かえるように丁寧な配慮をしていきたいと思っています。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校について、地域の活性化も含めて全体で考えていただきたいというご意見でした。現状としては中学校の再編について、地域、保護者の皆さんと協議を進めている状況です。幼稚園の再編ということで、小学校はどうするのかということをご心配されていると思います。基本方針では小学校についても考えていかなければならないという方針を出していますが、小学校は地域の核となる存在であり、現在具体的なことを決めているわけではありません。</p> <p>地域と密接、密着な関わりがあることから、検討は必要ではありますが、地域の皆さんと今後、十分話し合いをしてということになります。中学校と小学校は違う時間軸で考えています。</p>
B	<p>②子どもが母子幼稚園でお世話になりました。すでに卒園しているので直接再編には関わりませんが、母子にとって大切なことだと思い参加しました。</p> <p>再編の方向に行くのはこの人数なので仕方ないと思います。今年度は園児1人、来年度は未定という現状で、統合する令和6年度には、現状子どもがいないことを村の方もわかっているので、なかなか発言が出るということは難しいのではないかと思います。</p> <p>私の子は幼稚園でじっくり見てもらえたが、15人から30人、5歳児は35人という定員を設けていますが、発達障害や集団になじみにくい子どものことをどのよう考えているのか、集団の中でどのよ</p>	<p>②現在公立幼稚園では、支援の必要なお子さんの受け入れをしています。受け入れの際にはどのような支援がどれくらい必要なのか、保護者の方から話を聞き、園でお子さんを見ながら支援を行っています。どのように支援していくかを考えたとき、その子が自立していけるよう、その子の持っている力を引き出す、伸ばしていくという視点が大切だと考えます。</p> <p>必要に応じて学級担任の他に加配の先生がついて複数で見ている園もあります。子どものことについては学級担任だけでなく、指導計画や個別支援計画を園の職員で共有し、大きい園であってもきめ細やかに支援するように努めています。</p> <p>人数の多い園だから手薄になるということはありません。保護者の方と連携しながら支援していきたいと考えていますので安心していただきたいと思います。</p>

	<p>うに伸ばしてもらえるのか、どれくらいの先生がついてくれるのか、親として不安だと思います。</p> <p>その時期その時期の子どもの状況に合わせた寄り添い方、伸ばし方をしてもらえるのか不安を感じます。不安を抱えている親ほど、大きな集団に入ることに漠然とした不安を感じると思います。三田市で発達障害などについてケアしてもらえる施設の情報が薄いと感じています。市役所に行って相談しても公立ではないところや病院で検査してくださいということになります。不安なところに寄り添ってもらえると親は安心すると思います。</p>	
	③預かり保育については、令和3年度から保護者ニーズにより週3日に拡充とありますが、母子幼稚園も該当するのですか。	③来年度入園受付の際に保護者のニーズをお伺いし、3日必要ということであれば、現在の週1日を週3日実施に拡充することも検討させていただきます。
	④預かり保育の拡充については保護者に発信できているのですか。次の春のことであれば早く情報を保護者に発信した方が働ける時間や場所なども変わってきて、選択肢が増えるのではないかと思います。	④情報発信はできていません。入園募集のしおりには今年状況を記載しています。入園受付に来ていただき、保護者ニーズをお伺いしてから拡充に向けて検討することになります。
C	<p>⑤入園式などに参加させてもらっていますが、この子は本当に大切にされています。そういう地域において、幼稚園再編の話を地域の方がどう受け止められているかを知りたくて参加しました。</p> <p>三田市の政策もよくわかるし、地域の方がいいと言われているのであればいいとは思いますが、こういう温かい地域の子どもたちが行くという熱い思いを大事にしてほしいと思います。どの子も等しく大事だけれど、本当にここは大切にされています。人生の中でこのようにみんなに大切にされる時期があって本当に幸せだなと思います。人数がたくさんあることは、もちろん良いところもあるけど、もったいないと思います。</p> <p>送迎バスがあることに安心しましたが、2号認定の子どもこそ送迎してあげてほしいと思います。きめ細やかにニーズに対応してほしいです。1号認定の子どもしかしませんが、今後政策が進めにくくなるのではと心配です。</p>	<p>⑤この地域ならではの良さは十分理解しています。場所が離れてしまったからといって途切れてしまうのではなく、今後もこの地域で育てていくお子さんですので、園の取り組みを地域に発信し、教育の中に地域との関わりを取り入れていくなど地域の方々にご協力いただいて、魅力のある保育を行っていきたいと考えています。</p> <p>バスの基本的な考え方として、無償の方向で考えています。それは地域から幼稚園が無くなってしまふことへの対応ですので、まずは1号認定の子どもを確約させていただくということで計画案にも示しています。長期的に財政的な面も含めて安定的にやるとすると、先ず約束できるのは、1号認定の朝と午後2時の送迎をしていくことをお示ししていますのでご理解いただきたいと思います。</p>
	⑥学級の人数の根拠があれば、教えてください。	⑥科学的な根拠となるデータはありません。望ましい集団規模を決めるときに審議会を行い、その中で出てきた意見として5人ぐらいのグループが3つ以上あるのが望ましいという意見でした。

		<p>自分自身も保育をする中で感じていることとして、子どもは子ども同士の関わりの中で育つ部分が非常に大きいということ、少ない人数にはその良さはあるが、課題のところにもあるように、友達関係が固定化しやすいこと、経験の偏りが起こりがちになることがあります。</p> <p>二つ目の理由としましては、自分がしたい遊びがあっても一緒に遊ぶ友達がいらない、遊びを深めていくにも一人が抜けてしまうと遊びそのものが成り立たなくなる、人が自然に出入りしても遊びが継続できるには、少なくとも15人くらいあれば遊び込む経験ができるのではないかと考えます。</p>
--	--	---